

夏季集中研修

「教えること」「学ぶこと」を考える

日時:2011年8月6日(土)・7日(日) ※2日間連続講座

会場:(財)海外技術者研修協会(AOTS)東京研修センター 予定

交通:東武伊勢崎線牛田駅・京成関屋駅から徒歩7分,北千住駅から徒歩10~12分

主催:(社)日本語教育学会 協力:(財)海外技術者研修協会(AOTS)予定



日本語を教える私たちは、日々、最善の授業をと心がけています。しかし、ときにそこで行われる方法や教育の在り方を振り返り、見直していくことは重要ではないでしょうか。今年の夏季集中研修では、3つのワークショップを行います。2日間じっくり時間をかけ、教育実践を研究につなげる手法を学んだり、学習者の視点で学びの支援のための方法を探ったりしていきます。



ワークショップ① <統計>

「日本語教師のための統計学入門」

講師:黒沢 学(東京電機大学 未来科学部)

統計学は日本語教師にとって難解なものだという通念があります。しかし、日々の実践の改善や自分の実践を分析する上でも、研究論文を理解する上でも統計学の知識は重要です。本研修では、日本語教師のための統計学の入門編として前半では統計学の基礎知識を知るところから始め、実践報告や研究論文に見られる統計処理の表現の意味解釈ができるようになることを目指します。後半では、日本語教育実践のケースをもとに、そこに必要となる統計処理の方法が分かるようになることを目指します。

【参考文献】

村井潤一郎・柏木恵子(2008)『ウォームアップ心理統計』東京大学出版会

山田剛史・村井潤一郎(2004)『よくわかる心理統計』(やわらかアカデミズム・わかるシリーズ)ミネルヴァ書房



ワークショップ② <質的研究>

「質的研究とSCAT(Steps for Coding and Theorization)を体験する」

講師:大谷 尚(名古屋大学大学院 教育発達科学研究科)

みなさんは、自分たちの教育実践の分析のために観察記録やインタビュー記録(データ)を取ったのに、ただ記録に書いてあることをまとめただけで、深く有意義な分析ができなかったということはありませんか?

このワークショップでは、まず質的研究手法について学んだ後、初学者にも取り組みやすい質的データ分析手法SCATを使って実際にデータを分析することで、自分のデータを分析できるようになることを目指します。

【参考文献】

大谷尚(2008)4ステップコーディングによる質的データ分析手法SCATの提案

ー着手しやすく小規模データにも適用可能な理論化の手続きー

名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要(教育科学) v.54, n.2, 27-44

<http://www.educa.nagoya-u.ac.jp/~otani/scat/>



ワークショップ③ <モニタリング・自己評価>

「日本語教師の「基準」を意識してみよう ―メタ認知知識の活性化を目指して―」

講師：衣川 隆生（名古屋大学 留学生センター）

課題遂行能力は、[目標設定と計画立案]→[課題遂行とモニタリング]→[自己評価]という過程を繰り返すことで身についていくと考えられます。この過程で<モニタリング・評価の基準>は重要な役割を果たします。ワークショップでは産出技能(話す・書く)の<モニタリング・評価>の基準の意識化、精緻化を目的とした活動の体験を通して、その効果と課題を検討します。

【参考文献】

衣川隆生(2009)「メタ認知知識の外言化がもたらすもの ―モニタリングの基準の意識化と内在化を目指して―」『日本語教育の過去・現在・未来 第3巻 教室』凡人社, pp.69-93.



スケジュールと申込方法

◆日程(予定): * 現在予定されている計画停電等の事情により、内容に変更がある可能性があります。

1日目:8月6日(土) 10:00-19:00 全体説明・ワークショップ(昼食含む)

2日目:8月7日(日) 9:00-16:00 ワークショップ・全体共有(昼食含む)

◆受講料(昼食2回含む): 日本語教育学会会員または大学院生 11,000円 非会員・一般 13,000円

◆定員(各先着順): ワークショップ①60名 ワークショップ②30名 ワークショップ③30名

◆応募条件: 日本語教育経験のある方で、2日間の全日程に参加できる方。ワークショップ①と②はインターネットに接続可能なノートパソコンを持参できる方(接続方法は無線でも有線でも構いません)。また、ワークショップ②と③は事前課題があります。詳細は必ず申込書を確認してください。

◆申込方法: 申込書を日本語教育学会ホームページよりダウンロードしてご記入の上、EメールかFAXで送付してください。メールの場合、タイトルは「夏季集中研修申込」としてください。学会事務局からの連絡はすべてEメールが基本となります。折返しEメールで、受講料の振込口座や研修詳細等をご連絡します。申込書送信後に返信メールが到着しない方は未着の可能性があるので、必ずご連絡ください。

◆宿泊: 会場付属の宿泊室に宿泊希望の方は、別途1泊6,000円(シングルルーム・素泊まり)にて、前日と1日目の宿泊予約を承りますので、申込書の該当欄にご記入ください。(先着順・数に限りあり)

◆申込締切: 2011年7月15日(金) ※但し、締切日前でも定員に達し次第、受付終了

◆申込書送付先および問合せ先: (社)日本語教育学会 教師研修委員会事務局

TEL: 03-3262-4291 FAX: 03-5216-7552 E-mail: kyoshikenshu@nkg.or.jp

◆よくあるご質問 Q&A

1. 2つのワークショップに参加できますか? →できません。申込時にワークショップを一つ選択していただきます。本研修は、2日間かけて同メンバーでじっくり取り組みます。

2. 会場に宿泊しなければなりませんか? →ご自宅からの通い参加、近隣のホテルやご友人宅の宿泊等、各自のご自由なスタイルで構いません。希望者のみ、会場施設での宿泊を承ります(別途有料・先着順)。

3. 食事はどうなっていますか? →研修受講料には昼食2回分が含まれています。

4. 支払はどのようにすればよいですか? →申込書類を確認後、指定日までに銀行振込にてお願いしております。また、海外在住の方は、VISA・マスターカードでのお支払いも承っております。